



認知症の方への対応の心得



認知症の方も一般の人とのつきあいと、基本的には変わりません。認知症の方への対応の心得は、認知症の方の他、高齢の方を含むすべての方へのやさしい対応につながります。そのうえで、認知症の方と接するときは、認知症についての正しい理解に基づく対応が大切となります。

基本姿勢

～ 認知症の方への対応の心得 3つのない ～

驚かせない

急がせない

自尊心を傷つけない

☆ 具体的な接し方の7つのポイント ☆

● まずは見守る、気にかける

認知症かなと思われる人に気づいたら、ご本人に急に近づくのではなく、さりげなく様子を見守ります。

● 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手方にも伝わって動揺させてしまいます。目が合ったらゆっくりと近づいて、自然な笑顔で応じましょう。

● 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、なるべく1人で声かけをします。

● 後ろから声をかけない

不意に声をかけられると、誰でもびっくりします。一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。

● 相手に目線を合わせて優しい口調で

小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

● おだやかに、はっきりした話し方で

耳が聞こえにくい人もいますので、ゆっくりとはっきりした口調を心掛けます。早口、大声、甲高い声は避けましょう。

● 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり

認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、ゆっくり聴き、何をしたいのか相手の言葉を使って推測、確認していきます。

